

会議録

会議の名称	平成29年度第1回加東市子ども・子育て会議
開催日時	平成29年8月3日(木) 午後3時から午後4時30分まで
開催場所	加東市役所302号会議室
<p>議長の氏名 (会長 名須川知子)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】10人</p> <p>名須川知子委員 片山弘文委員 山本明弘委員 伊村晶子委員 野瀬 光委員 衣川かおり委員 藤井公子委員 安田末子委員 松尾美智子委員 松本秀憲委員</p> <p>【欠席委員】5人</p> <p>鴨川佳子委員、登光広委員、山口真一委員、下山浩央委員、賀内香代子委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>	
<p>【出席した事務局職員の氏名及びその職名】</p> <p>教育委員会 教育部長 西角啓吾 学校教育課 主幹 藤原良二</p> <p>福祉部 福祉部長 丸山芳泰 子育て支援課 副課長 菅野勇一 同 岸本万里子 同主幹 稲岡めぐみ 同主査 高田 篤</p> <p>【議題、会議結果、会議の経過及び資料名】</p> <p>1. 議題 (議事)</p> <p>(1) 平成28年度加東市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について</p>	

2. 会議結果

(1) について

資料に基づき審議しました。

3. 会議の経過

(事務局)

- ・開会挨拶（福祉部長）
- ・資料確認

【議事（1）平成28年度加東市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について】

〈事務局から資料①に基づき概要説明〉

(会長)

事務局から概要説明がありました。委員の皆さんから、ご意見をお願いします。もちろん、資料に掲載されている以外の子育てに関する要望等でも結構です。

(委員)

食物アレルギーの対応について、小学校は給食センターを中心にきちんとなされており、随分進歩していますが、認定こども園や保育所については、食物アレルギーへの対応が施設によってばらばらです。

保育所にしても認定こども園にしても、国から食物アレルギーのガイドラインが発表されており、周知されているはずだと思うのですが、食物アレルギーがあるから入園を受け入れてもらえなかったというケースが多々あります。

加東市でも、ガイドラインを周知徹底するための取組や、市の統一的ガイドラインの作成を推進していく必要があることを痛感しています。例えば西宮市では、市が中心となってそういうものを既に作成されています。

加東市では、そうしたことについて、どのように考えているのかお聞きします。

(事務局)

加東市では、独自のガイドラインは定めていません。国・県からのガイドラインについては、その都度、園にお示ししています。

また、アレルギーで入園を断られたというケースは把握していませんでした。

(委員)

各園では、昼食・おやつを提供されていますが、その提供の基準、こういう食材は使わないとか、アレルギー症状が出たときにどう対応するかなど、具体的な対策というのが不十分な部分があります。

そのため、食物アレルギーのある人にはお弁当を持参してもらうことで対応している園もあります。また、積極的に昼食・おやつを提供する園もいくつかありますが、除去するもの・除去しないものの基準や、加工食品の取り扱いなどが、園によってまちまちです。あまりにも園によって差があるのは、困ったことだなと考えています。

(会長)

そのあたりは、実態調査も含めて、事務局で検討いただくということによろしいでしょうか。ありがとうございました。

(委員)

「MY TREEペアレンツプログラム」というものを実施しているという説明がありましたが、利用者はどれくらいおられますか。

(事務局)

グループは大体10人前後を目安としています。

実践者を3人含めて9月から13回のスケジュールを組み、実践を重ねていって、保護者の心の変化に働きかけるように取り組んでいます。

(委員)

2つ質問があります。

1つ目は、1ページの施策番号1の「よーい・どん！ひろば」について、「一緒に体を動かすことで発育を促したり、共感力を喚起したりするような遊び」という記載がありますが、この「共感力を喚起するような遊び」というのはどういう遊びなのでしょう。

2つ目は、43ページの「子ども110番の家」です。通学路の途中に「安心・安全の家」などという看板があがっていますが、その中には、申込者の方が入院中であつたり、亡くなっておられたりするお宅があります。看板がそのまま掲示されているということがないよう、再確認をお願いできないでしょうか。

(事務局)

まず、「よーい・どん！ひろば事業」の「共感力を喚起したりするような遊び」ですが、単純に走ったり飛んだりといった子どもが1人でする遊びではなく、子どもと保護者が一緒に体操をしたり、他の子どもと一緒にボール遊びを楽しんだりという遊びを想定しています。

児童館は主に未就園児を対象としていますが、そうした子どもたちは普段、みんなで何かをするという機会が少ないと思います。そこで、多人数で体を動かす遊びを提供していきたいと考えています。

(事務局)

もう1つの通学路の安全については、「安全・安心の家」というステッカーのほか、東条地域では「こいのぼりの家」という黄色い看板、鴨川地区では赤いステッカーの立て看板を設置するという形でご協力をいただいています。

ご指摘の件については、ちょうど夏季休業中ですので、今のうちにしっかりと確認をして、子どもたちが安心できるステッカーになるよう進めていきます。

(会長)

ほかに何かありませんか。では、私から1つ。

防災訓練について、各小学校、幼稚園、保育所、認定こども園でそれぞれ行っていると思いますが、それを連携して一緒にやるということは考えていませんか。地震は広域に起こりますし、いかがでしょうか。

(事務局)

防災訓練については、地域防災ということで、小学校だけでやるのではなくて、地域の方や地域の消防団、市等と連携しながら実施しています。自衛隊の方にもご協力いただき、より体験的なことができる機材を持ってきていただくこともあります。

(会長)

実は重要なのは、隣の小学校や中学校、あるいは同じ学区の子どもたちといった、子どもたち同士の連携なのです。

東日本大震災の際の「釜石市の奇跡」は、小学校と中学校が常に連携していたため、子どもたちが顔なじみになっており、中学生が小さい子どもをおぶったり、泣いている子どもの手を引っ張ったりして、山の上に避難できたという実態があります。

幼小連携や小中連携とよく言いますが、重要なのはこうしたことだと思います。お互いの命を守るためにも必要なものです。附属幼稚園・小学校・中学校でも、近隣地区とともに今後取り組もうと考えています。

このように、防災においては、大人同士の連携はもちろん、子ども同士の連携ということも重要であると市には認識いただきたいと思います。

(事務局)

加東市の学校でも小中一貫教育を推進しており、特に東条地域では4年後に小中一貫校が設置されます。

防災面での一貫教育ということも視野に入れたいと思います。ご提案ありがとうございました。

《議事終了》

- ・事務連絡（委員報酬について）
- ・閉会挨拶（教育部長）
- ・閉会

4. 配付資料

- ・平成28年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況シート
- ・平成28年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（教育・保育事業）…資料①
- ・平成28年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（地域子ども・子育て支援事業）…資料②

平成29年10月10日

会長 名須川 知子

